全国労働組合同盟

日本運輸労働組合拡大執行委員会報告

全国労働組合同盟第二回全国大会は、反動的本部派の言論封鎖と、意識的計画的弾圧とに依って蹂躙された。憤激した全国の戦斗的代議員は　反動化を防止し、輝ける全国労働を確建大衆のために奪還すべく　可急的にまず戦斗同盟を結成した。然るに、吾々の同盟擁護の斗争は本部中央委員会の忌ひに觸れ、吾等の同志、関家、加藤、高梨、石橋の四氏は遂に反動幹部の独断によって除名されたのである。我等は斯る同盟中央委員会の傍若無人の専制と徹底的に抗争すべく、大会に次ぐ最高機関たる拡大執行委員会を開催し、吾々は日本運輸の戰術的態度を決すべく各支部分会に指令した。（付記、議長大熊、書記久保田）

日　時――昭和六年十一月八日午后七時から十一時まで

場　所――神田区稲田町本部にて

出　席――芝浦第一、芝浦第二、芝浦第三、日本橋陸上、極東、東田、東湾第二、汐留、中野、南千住、東湾月島、京橋船夫、神奈川第一、大崎第一、大崎第二、深川第一、霞ヶ浦支部、丸の内（代理）、日本橋第一、井田分會、合計一九支部、一分會　五十八名、本部、久保田、大熊、

本部報告　一、全國大會を如何に斗ったか　二、倶樂部排撃同盟の結成　三、除名問題、

財團 協調會

財團法人 協調會